

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3



株式ダブルブル・ベア・グループ

インド・ダブルブル3 インド・ダブルベア3
中国・ダブルブル3 中国・ダブルベア3
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし)3
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし)3
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり)3
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり)3
(追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型))

通貨ダブルブル・ベア・グループ

レアル・ダブルブル3/レアル・ダブルベア3
(追加型投信/海外/その他資産(通貨)/特殊型(ブル・ベア型))

商品ダブルブル・ベア・グループ

金・ダブルブル3/金・ダブルベア3
(追加型投信/内外/その他資産(商品)/特殊型(ブル・ベア型))

マネープールファンド3

(追加型投信/国内/債券)

〔投資信託説明書(交付目論見書) 2013.2.13〕

本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)は、委託会社のホームページに掲載しております。
- ファンドの信託約款の全文は、投資信託説明書(請求目論見書)に掲載しております。
- 投資信託説明書(請求目論見書)は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。
なお、投資信託説明書(請求目論見書)の交付を請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドの内容に関して重大な変更を行う場合は、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
- ファンドの信託財産は、信託法に基づき、受託会社において分別管理されています。

ファンドの販売会社、基準価額などについては、下記委託会社の照会先までお問い合わせください。

委託会社 [ファンドの運用の指図を行う者]

T&Dアセットマネジメント株式会社

設立年月日: 1980年12月19日 資本金: 11億円
(資本金、運用純資産総額は2012年12月末日現在)

金融商品取引業者登録番号: 関東財務局長(金商)第357号
運用する投資信託財産の合計純資産総額: 1兆2,757億円

<照会先>

電話番号: **03-3434-5544**

インターネットホームページ: <http://www.tdasset.co.jp/>

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

受託会社 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

三井住友信託銀行株式会社

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

この投資信託説明書（交付目論見書）により行う下記ファンドの募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を平成25年2月12日に関東財務局長に提出しており、当該届出の効力の発生の有無については、表紙記載の委託会社の照会先にてご確認いただけます。なお、効力が生じていない場合には、本書に記載された内容につき訂正が行われることがあります。

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(インド・ダブルブル3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(インド・ダブルベア3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(中国・ダブルブル3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(中国・ダブルベア3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジなし)3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジなし)3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジあり)3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジあり)3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(リアル・ダブルブル3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(リアル・ダブルベア3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(金・ダブルブル3)	T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(金・ダブルベア3)
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(マネープールファンド3)	

ファンド名	商品分類				属性区分							
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	為替ヘッジ	特殊型			
インド・ダブルブル3	追加型	海外	株式	特殊型 (ブル・ベア型)	債券 (その他債券) (注)	年1回	エマージング	あり (フルヘッジ)	ブル・ベア型			
インド・ダブルベア3								なし				
中国・ダブルブル3								あり (フルヘッジ)				
中国・ダブルベア3								なし				
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし)3												
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし)3												
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり)3								あり (フルヘッジ)				
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり)3								なし				
リアル・ダブルブル3			その他資産 (通貨)				グローバル (日本を含む)	あり (フルヘッジ)				
リアル・ダブルベア3								なし				
金・ダブルブル3	内外	その他資産 (商品)						あり (フルヘッジ)				
金・ダブルベア3												
マネーボールファンド3	国内	債券	—	債券(一般)	日本	—	—					

(注) 株価指数、通貨またはETFに連動もしくは逆連動するユーロ円建債券を主要投資対象としますので、商品分類表における投資対象資産(収益の源泉)はそれぞれ、「株式」、「その他資産(通貨)」または「その他資産(商品)」と分類しています。

属性区分における「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。
商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご参照ください。

ファンドの名称について

本書において、ファンドの名称を略称で記載する場合があります。

ファンドの名称	略称		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(インド・ダブルブル3)	インド・ダブルブル3	インド・ダブルブル・ベア3	株式ダブルブル・ベア・グループ
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(インド・ダブルベア3)	インド・ダブルベア3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(中国・ダブルブル3)	中国・ダブルブル3	中国・ダブルブル・ベア3	
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(中国・ダブルベア3)	中国・ダブルベア3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジなし)3)	ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし)3	ブラジル・ダブルブル・ベア (為替ヘッジなし)3	
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジなし)3)	ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし)3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジあり)3)	ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり)3	ブラジル・ダブルブル・ベア (為替ヘッジあり)3	
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジあり)3)	ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり)3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(リアル・ダブルブル3)	リアル・ダブルブル3	リアル・ダブルブル・ベア3	通貨ダブルブル・ベア・グループ
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(リアル・ダブルベア3)	リアル・ダブルベア3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(金・ダブルブル3)	金・ダブルブル3	金・ダブルブル・ベア3	商品ダブルブル・ベア・グループ
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(金・ダブルベア3)	金・ダブルベア3		
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3(マネーブルファンド3)	マネーブルファンド3	マネー3	

以上を総称して「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3」、また、以上を総称して、または個別に「ファンド」または「各ファンド」ということがあります。
ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジなし)3、ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジなし)3、ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジあり)3、ブラジル・ダブルベア(為替ヘッジあり)3を総称して「ブラジル・ダブルブル・ベア3」ということがあります。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

インド・ダブルブル3	日々の基準価額の値動きがインドの株価指数であるS&P CNX Nifty指数の日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
インド・ダブルベア3	日々の基準価額の値動きがインドの株価指数であるS&P CNX Nifty指数の日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
中国・ダブルブル3	日々の基準価額の値動きが中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数(H株指数)の日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
中国・ダブルベア3	日々の基準価額の値動きが中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数(H株指数)の日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし)3	日々の基準価額の値動きがブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(円ベース)の日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし)3	日々の基準価額の値動きがブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(円ベース)の日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり)3	日々の基準価額の値動きがブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(ブラジルレアルベース)の日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり)3	日々の基準価額の値動きがブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(ブラジルレアルベース)の日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
レアル・ダブルブル3	日々の基準価額の値動きがブラジルの通貨レアルの円からみた日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
レアル・ダブルベア3	日々の基準価額の値動きがブラジルの通貨レアルの円からみた日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
金・ダブルブル3	日々の基準価額の値動きが香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR®ゴールド・シェアの日々の騰落率の「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。
金・ダブルベア3	日々の基準価額の値動きが香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR®ゴールド・シェアの日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。
マネープール ファンド3	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

ファンドの特色

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3は、13本(12本のファンドおよび「マネープールファンド3」)のスイッチング可能なファンドから構成されています。

- ◆ **ダブルブル** … 日々の基準価額の値動きが、対象とする株価指数、通貨およびETF^(注)の**日々の値動きの「概ね2倍程度」となる投資成果**を目指して運用を行います。
- ◆ **ダブルベア** … 日々の基準価額の値動きが、対象とする株価指数、通貨およびETF^(注)の**日々の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果**を目指して運用を行います。
(注) ETF(上場投資信託)とは、特定の株価指数、債券指数、商品価格(商品指数を含む)などに連動することを目的に運用される投資信託のことで、通常の株式と同じように金融商品取引所において、いつでも売買が可能です。また、株価指数、通貨およびETFを総称して「各種指数等」ということがあります。
 - 対象とする各種指数等の日々の値動きの「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」に価格が連動するユーロ円建債券を主要投資対象とします。
 - 投資にあたっては、複数の発行体が発行するユーロ円建債券に投資するよう努めます。
 - ユーロ円建債券の組入れは、原則として高位を保つことを基本とします。
- ◆ **マネープールファンド3** … わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

一般にブル・ベア・ファンドとは…

デリバティブ(金融派生商品)の積極活用により、証券や通貨などの価格変動等の指標(インデックス)に対して、ある一定の倍率での値動きを目指すファンドで、ブル型とベア型があり、総称してブル・ベア・ファンドと呼びます。

ブル型ファンド

雄牛が角を下から上に振り上げる様子に例えて、対象とする株式等の相場が上昇したときに、その上昇を一定の倍率でファンドの値動きに反映させることを目指すファンドです。

ベア型ファンド

熊が手を上から下に振り下ろす様子に例えて、対象とする株式等の相場が下落したときに、その下落とは逆の動きを一定の倍率でファンドの値動きに反映させることを目指すファンドです。

ファンドが目標とする投資成果

株式ダブルブル・ベア・グループ

以下の6本のファンドにおいて、実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っています。

ファンド名	対象とする株価指数	目標とする投資成果
インド・ダブルブル3	S&P CNX Nifty指数	●対象とする株価指数の日々の値動きの「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ブル・ファンドにおいて実質的な為替ヘッジを行う際に、円よりも短期金利の高い通貨に対しては為替ヘッジコストが発生しますが、円よりも短期金利が低い通貨に対しては為替ヘッジプレミアムの獲得が期待できます。また、当該ファンドはダブルブル・ファンドであるため、為替ヘッジコストおよび為替ヘッジプレミアムも概ね2倍程度となります。
中国・ダブルブル3	ハンセン中国企業株指数 (H株指数)	
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり) 3	MSCIブラジル25/50インデックス (ブラジルリアルベース) MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) を ブラジルリアル換算した合成指数です。	

ファンド名	対象とする株価指数	目標とする投資成果
インド・ダブルベア3	S&P CNX Nifty指数	●対象とする株価指数の日々の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ベア・ファンドにおいて実質的な為替ヘッジを行う際に、円よりも短期金利の高い通貨に対しては為替ヘッジプレミアムの獲得が期待できますが、円よりも短期金利が低い通貨に対しては為替ヘッジコストが発生します。また、当該ファンドはダブルベア・ファンドであるため、為替ヘッジコストおよび為替ヘッジプレミアムも概ね2倍程度となります。
中国・ダブルベア3	ハンセン中国企業株指数 (H株指数)	
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり) 3	MSCIブラジル25/50インデックス (ブラジルリアルベース) MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) を ブラジルリアル換算した合成指数です。	

※対象とする株価指数は今後変更となる場合があります。

※上記ファンドの実質組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できる訳ではありません。

以下の2本のファンドにおいては、実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っておりません。

ファンド名	対象とする株価指数	目標とする投資成果
ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし) 3	MSCIブラジル25/50インデックス (円ベース) MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) を 円換算した合成指数です。	●対象とする株価指数の日々の値動きの「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●当該合成指数には、現地の株価変動に加え、ブラジルリアルと円のための為替変動もリスクに含まれます。そのため、円に対するブラジルリアルの日々の値動きの影響も「概ね2倍程度」となります。
ブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし) 3		●対象とする株価指数の日々の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●当該合成指数には、現地の株価変動に加え、ブラジルリアルと円のための為替変動もリスクに含まれます。そのため、円に対するブラジルリアルの日々の値動きの影響も「概ね2倍程度反対」となります。

※対象とする株価指数は今後変更となる場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

S&P CNX Nifty指数とは

インド株式市場全体の値動きを示す代表的な株価指数として、ナショナル証券取引所が発表を行うS&P CNX Nifty指数と、ボンベイ証券取引所が発表を行うSENSEX30種指数 (SENSEX指数) が一般に知られています。

指数	発表する取引所	構成銘柄数	計算方法	銘柄選定方法
S&P CNX Nifty指数	ナショナル証券取引所	50銘柄	時価総額加重平均 インドルピー建て	時価総額、取引規模、流動性など
〔参考〕 SENSEX指数	ボンベイ証券取引所	30銘柄	時価総額加重平均 インドルピー建て	流動性、取引規模、業種を代表する 企業であるか否かなど

(2012年12月末日現在) 出所:ナショナル証券取引所HP、ボンベイ証券取引所HP

ハンセン中国企業株指数 (H株指数) とは

中国の株式市場には上海・深セン・香港の3カ所があります。香港証券取引所には一般的な香港・中国企業が上場する「メインボード」と、新興市場の「GEM (Growth Enterprise Market)」があります。さらに、上場銘柄は企業の登記先によって「H株」「レッドチップ」「その他」の3つに分かれています。

ハンセン中国企業株指数 (H株指数)	中国本土で登記を行い、中国証券監督委員会の承認を経て香港証券取引所に上場している本土企業の中から選ばれた40銘柄で構成される指数です。H株は生粋の中国企業と言え、重厚長大産業＝中国の基幹産業の担い手としての優良企業が多いことが特徴です。
〔参考〕 香港ハンセン指数 (ハンセン指数)	金融、公益、不動産、商工業の4セクターから選別した50銘柄で構成 (H株やレッドチップも含む) される香港の代表的な株価指数です。時価総額の加重平均で算出されます。

(2012年12月末日現在) 出所:ハンセン・インデックス・カンパニー、Bloomberg

MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) とは

ブラジル株式市場全体の値動きを示す代表的な株価指数として、MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) や、サンパウロ証券取引所が発表を行うボエスパ指数があります。

MSCIブラジル 25/50 インデックス (米ドル建)	MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) 米国のモルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル (MSCI) が開発した株価指数で、各構成銘柄の比率が25%を超えず、また指数の5%以上を占める銘柄の合計が50%を超えないように設計されています。当該指数は親指数であるMSCIブラジルインデックスとの構成差異を最小化するように組成されており、2012年12月末日現在で81銘柄から構成されています。
〔参考〕 ボエスパ指数	サンパウロ証券取引所に上場している最も流動性の高い銘柄で構成される出来高加重トータルリターン指数です。1968年2月1日を基準値 (100) として算出され、組入銘柄は各銘柄の取引回数と取引金額等の基準にて選定されており、2012年12月末日現在で68銘柄から構成されています。

(2012年12月末日現在) 出所:サンパウロ証券取引所HP、MSCI

- ブラジル・ダブルプル (為替ヘッジなし) 3およびブラジル・ダブルベア (為替ヘッジなし) 3は、MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) を円換算した合成指数である、MSCIブラジル25/50インデックス (円ベース) を対象とします。
- ブラジル・ダブルプル (為替ヘッジあり) 3およびブラジル・ダブルベア (為替ヘッジあり) 3は、MSCIブラジル25/50インデックス (米ドル建) をブラジルレアル換算した合成指数である、MSCIブラジル25/50インデックス (ブラジルレアルベース) を対象とします。

**インドルピーおよびブラジルレアルは、直物為替先渡取引 (NDF取引) を活用して実質的な為替ヘッジを行います。
(NDF取引に関する留意点は8ページをご覧ください。)**

※NDF (ノン・デリバラブル・フォワード) 取引とは

- ・投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行う取引をいいます。
- ・新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

インド・ダブルプル3およびインド・ダブルベア3 (以下、「本商品」) は、インド インデックス サービスーズ&プロダクツ リミテッド (以下、IISL) 及びスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シー (以下、S&P) によって支持、保証、販売又は販売促進されるものではありません。IISL及びS&Pは、明示的にも暗示的にも、本商品の所有者もしくは一般の者に対して、有価証券全般または本商品に関する投資について、またインドにおいてS&P CNX Nifty指数 (以下、「本指数」) が市場全体のパフォーマンスに追従する能力について、何ら表明、条件付け又は保証するものではありません。IISL及びS&PのT&Dアセットマネジメント株式会社に対する唯一の関係は、IISLがT&Dアセットマネジメント株式会社又は本商品に関係なく決定、作成及び計算する本指数並びにIISL及びS&Pの登録商標についての利用許諾を与えることです。IISL及びS&Pは、本指数の決定、作成及び計算において、T&Dアセットマネジメント株式会社又は本商品の所有者の要求等を考慮に入れる義務を負うものではありません。IISL及びS&Pは本商品の販売に関する時期、価格の決定、又は本商品を現金に換算する式の決定もしくは計算に責任を負わず、また関わっていません。IISL及びS&Pは、本商品の管理、マーケティング又は取引に関する義務又は責任を何ら負うものではありません。

IISL及びS&Pは、S&P CNX Nifty指数の計算及びその元になるデータの正確性や完全性を保証するものではありません。また、IISL及びS&Pは、本指数に含まれるいかなる誤り、欠落又は障害に対する責任を負いません。IISL及びS&Pは、本指数又はそれらに含まれるデータの使用により、T&Dアセットマネジメント株式会社、本商品の所有者又はその他の人や組織に生じた結果に対して、明示的にも暗示的にも保証しません。IISL及びS&Pは、本指数又はそれらに含まれるデータに関して、商品性の保証や適合性について何ら保証するものではないことを明示し、かつそれに関して明示もしくは暗示の保証を行いません。以上のことに関わらず、特定の、罰則的、間接的あるいは結果的な損害 (利益の損失を含む) について、仮に「S&P®」及び「スタンダード&プアーズ®」は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの登録商標であり、T&Dアセットマネジメント株式会社に対して利用許諾が与えられています。

MSCI ブラジル25/50インデックスはMSCIが開発した株価指数で、ブラジルの株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。本資料に引用した各インデックスの商標、著作権、知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また、各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

通貨ダブルブル・ベア・グループ

ファンド名	対象とする通貨	目標とする投資成果
リアル・ダブルブル3	ブラジルリアル	●円から見た対象通貨の日々の値動きの「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ブル・ファンドにおいて、円よりも短期金利の高い通貨を対象とする場合には、円と対象通貨の短期金利差に伴うプレミアムが発生しますが、円よりも短期金利が低い通貨を対象とする場合には、コストが発生します。また、当該ファンドはダブルブル・ファンドであるため、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムも概ね2倍程度となります。
リアル・ダブルベア3		●円から見た対象通貨の日々の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ベア・ファンドにおいて、円よりも短期金利の高い通貨を対象とする場合には、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストが発生しますが、円よりも短期金利が低い通貨を対象とする場合には、プレミアムが発生します。また、当該ファンドはダブルベア・ファンドであるため、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムも概ね2倍程度となります。

※対象とするブラジルリアルは、ニューヨーク時間15時の対円レートを使用します（今後変更となる場合があります。）。

【ご参考】円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムについて

簡便法による算出

ブル・ファンド(対象通貨買い／円売り)	＝	対象通貨の短期金利	－	円の短期金利
ベア・ファンド(円買い／対象通貨売り)	＝	円の短期金利	－	対象通貨の短期金利

※原則として、上記の結果がプラスの場合はプレミアム、マイナスの場合はコストとなります。

※当該ファンドはダブルブル・ベア・ファンドであるため、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムも概ね2倍程度となります。

※ブラジルリアルは、NDF取引を活用して実質的な為替取引を行います。（NDF取引に関する留意点は8ページをご覧ください。）

商品ダブルブル・ベア・グループ

以下の2本のファンドにおいては、**実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っています。**

ファンド名	対象とするETF	目標とする投資成果
金・ダブルブル3	SPDR® ゴールド・シェア (香港上場ETF／ 香港ドル建)	●対象とするETFの日々の値動きの「概ね2倍程度」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ブル・ファンドにおいて実質的な為替ヘッジを行う際に、円よりも短期金利の高い通貨に対しては為替ヘッジコストが発生しますが、円よりも短期金利が低い通貨に対しては為替ヘッジプレミアムの獲得が期待できます。また、当該ファンドはダブルブル・ファンドであるため、為替ヘッジコストおよび為替ヘッジプレミアムも概ね2倍程度となります。
金・ダブルベア3		●対象とするETFの日々の値動きの「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。 ●ベア・ファンドにおいて実質的な為替ヘッジを行う際に、円よりも短期金利の高い通貨に対しては為替ヘッジプレミアムの獲得が期待できますが、円よりも短期金利が低い通貨に対しては為替ヘッジコストが発生します。また、当該ファンドはダブルベア・ファンドであるため、為替ヘッジコストおよび為替ヘッジプレミアムも概ね2倍程度となります。

※対象とするETFは今後変更となる場合があります。

※上記ファンドの実質組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できる訳ではありません。

SPDR®ゴールド・シェアとは

SPDR®ゴールド・シェア (香港上場ETF／香港ドル建)	金現物取引価格として、金価格の世界標準となる「金地金価格(ロンドン金値決め)」に連動を目指すETFです。香港のほか、ニューヨーク、メキシコ、シンガポール、東京の各金融商品取引所にも上場しています。
【参考】 COMEX金先物	COMEXとは、ニューヨーク・マーカンタイル取引所の一部門であり、金・銀・銅・アルミなどが上場されている先物市場です。特に金先物は世界の金価格の指標的な存在となっています。

マネープールファンド3

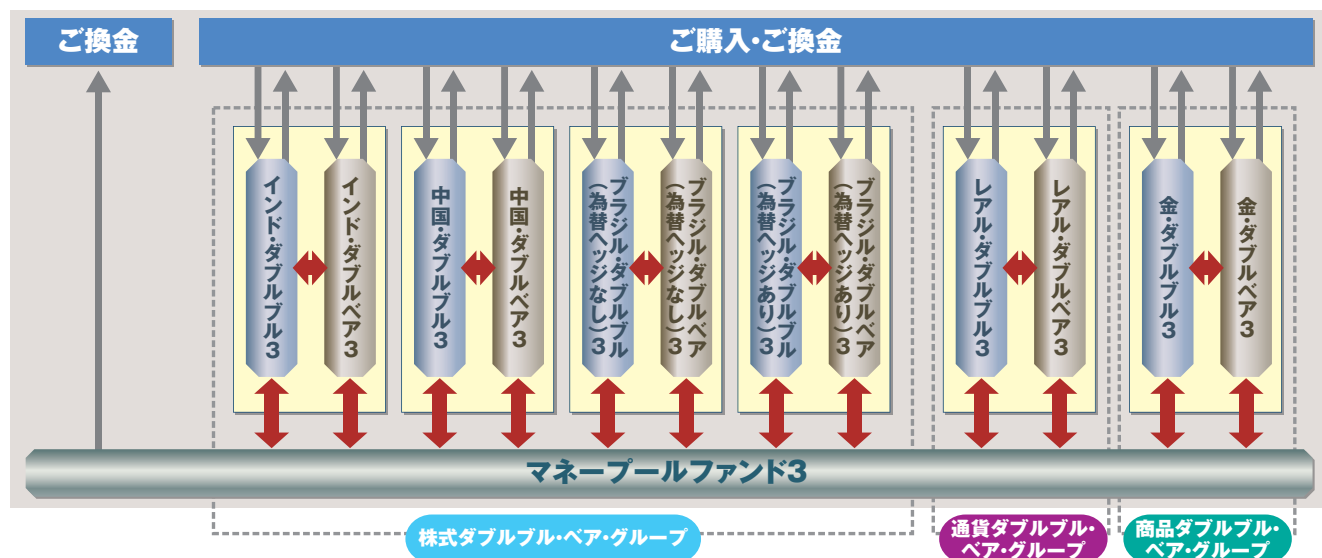
マネープール ファンド3	円建ての短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
-----------------	--

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

スイッチングについて

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3を構成する各ファンド間で、下記の通りのスイッチングが可能です。

- ・T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3を構成するファンドを下図の通り6つのペアに分け、同一ペア内および各ファンドとマネープールファンド3間でのスイッチングが可能です。
- ・異なるペア間のスイッチングは、マネープールファンド3経由で可能です。
- ・マネープールファンド3のご購入は、スイッチングによるお申込みのみとなります。
- ・スイッチングの際には、販売会社が定める所定の手数料等がかかります。(ただし、マネープールファンド3へのスイッチングには手数料はかかりません。)



↔ は、可能なスイッチングを表します。

ファンドの信託期間について

ファンドの信託期間は、平成27年3月10日までです(原則として信託期間の延長は行いません。)。原則として基準価額の水準にかかわらず、同日をもって信託期間を終了し、償還となりますので、十分ご留意のうえお申込ください。なお、平成26年12月11日以降は、ご購入およびスイッチングの各お申込は行えません。

※受益権口数が5万口を下回る等、各ファンドの約款における信託終了に関する定めに該当する場合には、信託を終了させる場合があります。

主な投資制限

各ファンド(マネープールファンド3を除く)

株式への投資割合 株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
外貨建資産への投資割合 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

マネープールファンド3

株式への投資割合 株式への直接投資は行いません。
外貨建資産への投資割合 外貨建資産への投資は行いません。

分配方針

毎決算時(3月10日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。
分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
ただし、必ず分配を行うものではありません。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

追加的記載事項

基準価額の変動についての留意点

ダブルブル・ペア・ファンドの基準価額の値動きについて

マネーブルファンド3を除く各ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする各種指数等の日々の値動きの「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、**2日以上離れた日との比較においては、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」の投資成果が得られる訳ではありませんので、十分にご留意ください。**

例

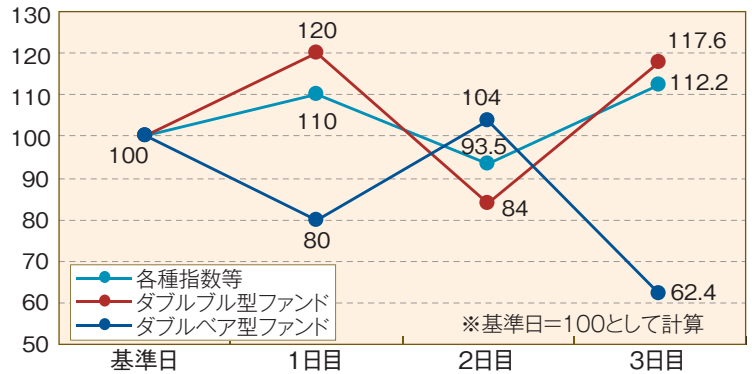
前日との騰落率比較

	1日目	2日目	3日目
各種指数等	+10%	-15%	+20%
ダブルブル型ファンド	+20%	-30%	+40%
ダブルペア型ファンド	-20%	+30%	-40%

基準日との騰落率比較

	1日目	2日目	3日目
各種指数等	+10%	-6.5%	+12.2%
ダブルブル型ファンド	+20%	-16%	+17.6%
ダブルペア型ファンド	-20%	+4%	-37.6%

※小数第2位四捨五入



上表のように、対象とする各種指数等が1日目に10%上昇、2日目に15%下落、3日目に20%上昇した場合、運用目標が正確に達成されれば、ダブルブル型ファンドの騰落率は20%上昇、30%下落、40%上昇、ダブルペア型ファンドの騰落率は20%下落、30%上昇、40%下落となります。

これを、基準日から3日目までの値動きでみると、各種指数等は12.2%上昇、ダブルブル型ファンドは17.6%上昇、ダブルペア型ファンドは37.6%下落となり、「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」とはなりません。

なお、各種指数等が上昇・下落を繰り返して動いた場合には、ファンドにとってはマイナス要因となり、基準価額が押し下げられることになります。

※上記は、正確に運用目標が達成された場合を前提に、対象とする各種指数等の値動きとファンドの基準価額の値動きの関係を分かりやすく説明するための計算例であり、実際の値動きとは異なります。また、対象とする各種指数等の値動きやファンドの基準価額の値動きを示唆・保証したものではありません。

基準価額の主な変動要因

下記の表は、基準価額に影響を及ぼす各種指数等と為替の影響を分かりやすくイメージしたものです。

ただし、下記の変動要因は、ファンドの運用時に発生するコスト等の様々な要因により必ずしも表記のとおり基準価額が上昇・下落するとは限りません。

	中国・ダブルブル3 インド・ダブルブル3 ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり) 3	中国・ダブルペア3 インド・ダブルペア3 ブラジル・ダブルペア (為替ヘッジあり) 3	ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし) 3	ブラジル・ダブルペア (為替ヘッジなし) 3		金・ダブルブル3	金・ダブルペア3
対象株価指数の上昇	↑ 上昇要因	↓ 下落要因	↑ 上昇要因	↓ 下落要因	対象ETF (金価格)の上昇	↑ 上昇要因	↓ 下落要因
対象株価指数の下落	↓ 下落要因	↑ 上昇要因	↓ 下落要因	↑ 上昇要因	対象ETF (金価格)の下落	↓ 下落要因	↑ 上昇要因
対象通貨高 (対円)	原則なし (注)	原則なし (注)	↑ 上昇要因	↓ 下落要因	対象通貨高 (対円)	原則なし (注)	原則なし (注)
対象通貨安 (対円)	原則なし (注)	原則なし (注)	↓ 下落要因	↑ 上昇要因	対象通貨安 (対円)	原則なし (注)	原則なし (注)
短期金利差 (対象通貨>円)	為替ヘッジコスト	為替ヘッジプレミアム	なし	なし	短期金利差 (対象通貨>円)	為替ヘッジコスト	為替ヘッジプレミアム
短期金利差 (円>対象通貨)	為替ヘッジプレミアム	為替ヘッジコスト	なし	なし	短期金利差 (円>対象通貨)	為替ヘッジプレミアム	為替ヘッジコスト

	リアル・ダブルブル3	リアル・ダブルペア3
対象通貨高 (対円)	↑ 上昇要因	↓ 下落要因
対象通貨安 (対円)	↓ 下落要因	↑ 上昇要因
短期金利差 (対象通貨>円)	短期金利差に伴うプレミアム	短期金利差に伴うコスト
短期金利差 (円>対象通貨)	短期金利差に伴うコスト	短期金利差に伴うプレミアム

(注) ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし) 3、ブラジル・ダブルペア (為替ヘッジなし) 3、リアル・ダブルブル3、リアル・ダブルペア3を除く各ファンドの実質組入外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できる訳ではありません。

※各ファンドの対象通貨は以下のとおりです。

インド・ダブルブル3/インド・ダブルペア3 <インドルピー>

中国・ダブルブル3/中国・ダブルペア3 <香港ドル>

ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジあり) 3/ブラジル・ダブルペア (為替ヘッジあり) 3 <ブラジルリアル>

ブラジル・ダブルブル (為替ヘッジなし) 3/ブラジル・ダブルペア (為替ヘッジなし) 3 <ブラジルリアル>

金・ダブルブル3/金・ダブルペア3 <香港ドル>

リアル・ダブルブル3/リアル・ダブルペア3 <ブラジルリアル>

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。

したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株式ダブルブル・ベア・グループ

株価変動リスク	各ファンドは、株価指数の値動きの「概ね2倍程度」または「概ね2倍程度反対」に価格が連動するユーロ円建債券を主要投資対象としますので、株価変動の影響を受けます。
カントリーリスク	各ファンドが投資対象とするユーロ円建債券の投資対象国における金融商品取引所や証券市場、会計基準および法制度等の変化が金融市場に及ぼす影響は、一般に先進国以上に大きいと考えられます。投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制が設けられた場合は、投資する有価証券や通貨の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。
為替変動リスク	[ブラジル・ダブルブル・ベア(為替ヘッジなし)3のみ] 各ファンドが主要投資対象とするユーロ円建債券は、株価指数の変動に加え、対象通貨(ブラジルレアル)と円との間の値動きの影響を「概ね2倍程度」または「概ね2倍程度反対」に受けるため、各ファンドは為替変動の影響を受けます。

通貨ダブルブル・ベア・グループ

為替変動リスク	各ファンドは、円から見た対象通貨(ブラジルレアル)の値動きの「概ね2倍程度」または「概ね2倍程度反対」に価格が連動するユーロ円建債券を主要投資対象としますので、為替変動の影響を受けます。 また、円と対象通貨との金利差に伴うコストが発生する場合、そのコストも概ね2倍程度となることにご留意ください。
カントリーリスク	各ファンドが投資対象とするユーロ円建債券の投資対象国における金融商品取引所や証券市場、会計基準および法制度等の変化が金融市場に及ぼす影響は、一般に先進国以上に大きいと考えられます。投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制が設けられた場合は、投資する有価証券や通貨の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。

商品ダブルブル・ベア・グループ

金価格変動リスク	各ファンドは、金価格に連動するETFの値動きの「概ね2倍程度」または「概ね2倍程度反対」に価格が連動するユーロ円建債券を主要投資対象としますので、金価格変動の影響を受けます。金の価格は、金の需給関係や為替、金利の変動、政治・経済情勢等に基づき変動します。
----------	---

マネープールファンド3

債券価格変動リスク	債券(公社債)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。
-----------	--

※基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ユーロ円建債券に関する留意点[マネープールファンド3を除く]
各ファンドは、主にユーロ円建債券に投資します。当該債券の発行者または保証者に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合、当該債券の価格は下落し、もしくは価値が無くなる場合があります。また、それらが予想される場合には、当該債券の利払いや償還金があらかじめ定められた条件で支払われない場合があります。
当該債券は固有の要因により、十分な流動性の下での取引が行われなため当該債券の価格が下落する場合があります。法令等の規制または市場環境の変化等により当該債券の流動性（換金性）が低くなった場合には、各ファンドの換金申込の受付を繰り延べる場合があります。
- NDF取引に関する留意点
インドルピーおよびブラジルレアルは、NDF取引を活用して実質的な為替取引を行います。NDF取引は、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利（NDF想定金利）が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムの拡大がファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあり、ファンドが目標とする投資成果から乖離する要因の一つとなります。
- 目標とする投資成果が達成できないリスクについて[マネープールファンド3を除く]
以下の要因等により、各ファンドが目標とする、日々の基準価額の値動きが、対象とする各種指数等の日々の値動きの「概ね2倍程度」および「概ね2倍程度反対」となる投資成果を達成できない場合があります。
 - ・ユーロ円建債券の売買・評価価格と各種指数等との差異
 - ・為替取引を行う際のコスト/プレミアム（ブラジル・ダブルブル・ベア（為替ヘッジなし）3を除く）
 - ・ユーロ円建債券の管理に係る諸経費
 - ・ファンドの流動性を確保するためにファンドの一部を短期金融資産に投資すること
 - ・大量の資金の流出入から実際にユーロ円建債券を売買するまでのタイミングのずれ
 - ・ユーロ円建債券の売買を行う際に発生する売買費用
 - ・ファンドの運用管理費用（信託報酬）、監査費用等
- ファンドの継続保有に際してご注意いただきたい事項[マネープールファンド3を除く]
対象とする各種指数等の値動きが、一定の範囲で上昇・下落を繰り返す動きとなった場合には、ファンドの投資成果は悪化することが想定されます。そのため、対象とする各種指数等の将来の水準が投資時点と同じであっても、基準価額が下落している可能性があります。
ファンドの基準価額の値動きにおいて、日々発生する信託報酬等の費用、購入・換金に伴う組入ユーロ円建債券の売買手数料、為替ヘッジコストや円と対象通貨の短期金利差に伴うコストなどの実質的な為替取引に伴うコスト負担等は、ファンドが目標とする日々の投資成果に対する押し下げ要因となります。したがって、投資期間が長期に亘る場合にはこれらのコスト負担が大きくなり、投資成果に大きな影響を与えます。
- 分配金に関する留意点
 - ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

リスクの管理体制

委託会社では、運用部門は定められた運用プロセスを通じて投資リスクを管理します。
また、運用部門から独立した部門がファンドのパフォーマンス評価・分析および法令・運用諸規則等に照らした適正性の審査等の結果について、各種委員会等に報告を行い、必要に応じて適切な措置を講じる体制となっております。

運用実績

ファンドは2013年2月28日から運用を開始する予定であり、該当事項はありません。

■基準価額・純資産の推移

■分配の推移

■主要な資産の状況

■年間収益率の推移 ※ファンドにはベンチマークはありません。

ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示される予定です。

手続・手数料等

お申込みメモ

購 入 単 位	1口単位（当初元本1口=1万円） なお、マネーブルファンド3はスイッチング以外による購入はできません。
購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購 入 代 金	原則として購入申込受付日から起算して6営業日目までにお支払いください。
換 金 単 位	1口単位
換 金 価 額	[各ファンド(マネーブルファンド3を除く)] 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額 [マネーブルファンド3] 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申 込 締 切 時 間	原則として午後2時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 ※中国・ダブルブル・ペア3および金・ダブルブル・ペア3については、香港証券取引所が半日立会日の場合、午前11時30分までとなります。
購入の申込期間	平成25年3月1日から平成26年6月10日まで 期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。なお、平成26年12月11日以降は、購入およびスイッチングの申込みはできません。
換 金 制 限	信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	特別な事情 ^(注) が発生した場合、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金およびスイッチングの申込の受付を中止することおよびすでに受付けた申込の受付を取消すことがあります。
信 託 期 間	平成27年3月10日まで（平成25年2月28日設定）
繰 上 償 還	各ファンドにつき、受益権の口数が5万口を下回ることとなった場合、その他やむを得ない事情が発生した場合等には、繰上償還となる場合があります。
決 算 日	毎年3月10日（休業日の場合は翌営業日）初回決算日は平成26年3月10日です。
収 益 分 配	年1回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	各ファンドにつき、1,000億円
公 告	委託会社が投資者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。 ※平成25年7月31日以降は、以下の通り変更する予定です。 委託会社が投資者に対してする公告は、原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ(http://www.tdasset.co.jp/)に掲載します。
運 用 報 告 書	毎決算時および償還時に運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。
申 込 不 可 日	下記の申込不可日のいずれかに該当する日には、購入、換金およびスイッチングの申込はできません。 <申込不可日>
	インド・ダブルブル・ペア3
	中国・ダブルブル・ペア3
	ブラジル・ダブルブル・ペア3
	リアル・ダブルブル・ペア3
	金・ダブルブル・ペア3
ス イ ャ ッ キ ン グ	「T&Dダブルブル・ペア・シリーズ3」を構成するファンドを6つのペアに分け、同一ペア内および各ファンドとマネーブルファンド3間でのスイッチングが可能です。スイッチングの際には購入、換金時と同様に費用等がかかりますのでご注意ください。（ただし、マネーブルファンド3へのスイッチングには、購入時手数料はかかりません。）

(注)「特別な事情」とは、下記をいいます。（マネーブルファンド3を除く）

- ユーロ円建債券を主要投資対象とする各ファンドにおいて、当該ユーロ円建債券が活用する有価証券および有価証券に係る先物取引等のうち主として取引を行うものについて、当該取引に係る金融商品取引所の当日の午後の取引（半日立会日については、午前の取引とします。）が行われないとき、もしくは停止されたとき。
- ユーロ円建債券を主要投資対象とする各ファンドにおいて、当該ユーロ円建債券が活用する有価証券および有価証券に係る先物取引等のうち主として取引を行うものについて、当該取引に係る金融商品取引所の当日の午後の取引終了時における当該取引の呼値が当該金融商品取引所が定める呼値の値幅の限度の値段とされる等、やむを得ない事情が発生したこと等により、当該ユーロ円建債券の当該取引に係る呼値の取引数量の全部もしくは一部についてその取引が成立しないとき。
- インド・ダブルブル3とインド・ダブルペア3、中国・ダブルブル3と中国・ダブルペア3、ブラジル・ダブルブル（為替ヘッジなし）3とブラジル・ダブルペア（為替ヘッジなし）3、ブラジル・ダブルブル（為替ヘッジあり）3とブラジル・ダブルペア（為替ヘッジあり）3、リアル・ダブルブル3とリアル・ダブルペア3、金・ダブルブル3と金・ダブルペア3を各々1つのペアとし、同一ペア内の他のファンドが下記事項に該当したとき。
・購入のお申込みの受付を中止したとき、またはすでに受付けた購入のお申込みの受付を取り消したとき。
・換金のお申込みの受付を中止したとき、またはすでに受付けた換金のお申込みの受付を取り消したとき。

ファンドの費用・税金

ファンドの費用

各ファンド(マネープールファンド3を除く)

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	購入価額に、 3.15% (税抜3.0%) 以内 で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。		
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に 年0.882% (税抜0.84%) の率を乗じて得た額とします。 ※ファンドの運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または償還時に ファンドから支払われます。		
	運用管理費用 (信託報酬)の配分	委託会社	年0.42% (税抜 0.4%)
		販売会社	年0.42% (税抜 0.4%)
		受託会社	年0.042% (税抜 0.04%)
その他の 費用・手数料	【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年0.0084% (税抜0.008%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料 については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。		

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

マネープールファンド3

投資者が直接的に負担する費用						
購入時手数料		ありません				
信託財産留保額		ありません				
投資者が信託財産で間接的に負担する費用						
運用管理費用 (信託報酬)		毎日、ファンドの純資産総額に 年0.5775% (税抜0.55%) 以内 の率を乗じて得た額とします。 信託報酬率については「コールレート」に応じて以下の通りとします。なお、平成25年3月29日までの信託報酬率は、年0.1575% (税抜0.15%) 以内の率とします。 ※ファンドの運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または償還時に ファンドから支払われます。				
		コールレート		0.4%未満	0.4%以上0.65%未満	0.65%以上
		信託報酬率		年0.1575%以内 (税抜0.15%以内)	年0.315% (税抜0.3%)	年0.5775% (税抜0.55%)
		配分	委託会社	年0.06825%以内 (税抜0.065%以内)	年0.1365% (税抜0.13%)	年0.231% (税抜0.22%)
			販売会社	年0.0735%以内 (税抜0.07%以内)	年0.147% (税抜0.14%)	年0.294% (税抜0.28%)
			受託会社	年0.01575%以内 (税抜0.015%以内)	年0.0315% (税抜0.03%)	年0.0525% (税抜0.05%)
その他の 費用・手数料		【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年0.00525% (税抜0.005%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動 するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。				

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

・税金は表に記載の時期に適用されます。

・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分 配 時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して10.147%
換金(解約)時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して10.147%

・上記は、平成25年1月末日現在のものです。平成26年1月1日以降は20.315%となる予定です。

・なお、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

・法人の場合は上記とは異なります。

・税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3」ご購入にあたって 特にご留意いただくポイント

当ファンドの特に注意すべきリスク

■インド・ダブルブル3/インド・ダブルベア3、中国・ダブルブル3/中国・ダブルベア3、ブラジル・ダブルブル（為替ヘッジあり）3/ブラジル・ダブルベア（為替ヘッジあり）3

当該ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度（概ね2倍程度反対）となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、対象となる株式市場が下落（上昇）した場合、対象となる株価指数に比べ大きな損失を被る可能性があります。

※当該ファンドは、実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っています。また、ファンドはダブルブル・ベア・ファンドですので、為替ヘッジコスト・為替ヘッジプレミアムが発生した場合それらについても、概ね2倍程度となります。

※上記ファンドの実質組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できる訳ではありません。

■ブラジル・ダブルブル（為替ヘッジなし）3/ブラジル・ダブルベア（為替ヘッジなし）3

当該ファンドは、実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っていないため、上記リスク（株価変動）に加え、ブラジルレアルと円のための為替変動もリスクとなります。そのため、円に対するブラジルレアルの値動きの影響も概ね2倍程度（概ね2倍程度反対）となります。

したがって、ブラジルレアルが円に対し下落（上昇）した場合、その下落率（上昇率）に比べ大きな損失を被る可能性があります。

更に、株価、為替ともに下落（上昇）した場合、非常に大きな損失を被る可能性があります。

■レアル・ダブルブル3/レアル・ダブルベア3

当該ファンドは、日々の基準価額の値動きが、円から見た対象通貨（ブラジルレアル）の日々の値動きの概ね2倍程度（概ね2倍程度反対）となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、対象通貨の対円レートが下落（上昇）した場合、通貨の変動に比べ大きな損失を被る可能性があります。

※当該ファンドにおいては、円と対象通貨の短期金利差の影響を受けます。また、ファンドはダブルブル・ベア・ファンドですので、円と対象通貨の短期金利差に伴うコストおよびプレミアムが発生した場合それらについても、概ね2倍程度となります。

■金・ダブルブル3/金・ダブルベア3

当該ファンドは、日々の基準価額の値動きが、金価格に連動するETF^(注)の日々の値動きの概ね2倍程度（概ね2倍程度反対）となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、対象となるETFが下落（上昇）した場合、対象となるETFに比べ大きな損失を被る可能性があります。

※当該ファンドは、実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っています。また、ファンドはダブルブル・ベア・ファンドですので、為替ヘッジコスト・為替ヘッジプレミアムが発生した場合それらについても、概ね2倍程度となります。

※上記ファンドの実質組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できる訳ではありません。

(注)ETF（上場投資信託）とは、特定の株価指数、債券指数、商品価格（商品指数を含む）などに連動することを目的に運用される投資信託のことで、通常の株式と同じように金融商品取引所において、いつでも売買が可能です。

当ファンドは上記をはじめとして、さまざまなリスクがあります。したがって、当ファンドにご投資される場合は、仕組み・リスク・手数料等について十分ご理解いただいた上で、リスクの高い商品に積極的にご投資することのできるご資金で、ご投資をお願い致します。

ファンドの費用

●購入時手数料…購入価額に対して最大3.15%（税抜3.0%）（スイッチング時は、購入価額に対して最大1.575%（税抜1.5%））

●運用管理費用（信託報酬）…マネープールファンド3を除く各ファンド：年0.882%（税抜0.84%）、

マネープールファンド3：年0.5775%（税抜0.55%）以内

※上記以外にも、ファンドに発生する費用があります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

このページは、野村證券株式会社からのお知らせです。
(このページの記載は目論見書としての情報ではございません。)

目論見書補完書面（投資信託）

(この書面は、金融商品取引法第 37 条の 3 の規定によりお渡しするものです。)
この書面、手数料に関する記載および目論見書の内容をよくお読みください。

当ファンドに係る金融商品取引契約の概要

当社は、ファンドの販売会社として、募集の取扱いおよび販売等に関する事務を行います。

当社が投資信託の取扱いについて行う金融商品取引業の内容及び方法の概要

当社が行う金融商品取引業は、主に金融商品取引法第 28 条第 1 項の規定に基づく第一種金融商品取引業であり、当社においてファンドのお取引や保護預けを行われる場合は、次の方法によります。

- ・ 国内投資信託のお取引にあたっては、保護預り口座の開設が必要となります。外国投資信託のお取引にあたっては、外国証券取引口座の開設が必要となります。
- ・ お取引のご注文は、原則として、あらかじめ当該ご注文に係る代金の全部又は一部を（前受金等）お預かりした上で、お受けいたします。
- ・ 前受金等を全額お預かりしていない場合、当社との間で合意した日までに、ご注文に係る代金又は有価証券をお預かりいたします。
- ・ ご注文されたお取引が成立した場合（法令に定める場合を除きます。）には、取引報告書をお客様にお渡しいたします（郵送又は電磁的方法による場合を含みます）。

当ファンドの販売会社の概要

商号等	野村證券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 142 号
本店所在地	〒103-8011 東京都中央区日本橋 1-9-1
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
資本金	100 億円
主な事業	金融商品取引業
設立年月	平成 13 年 5 月
連絡先	03-3211-1811 又はお取引のある本支店にご連絡ください。

お取引内容に関するご確認・ご相談や苦情等について

お取引内容に関するご確認・ご相談や苦情等につきましては、お取引店までお申し出ください。
なお、お取引についてのトラブル等は、以下の ADR（注）機関における苦情処理・紛争解決の枠組みの利用も可能です。

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
電話番号 0120-64-5005（フリーダイヤル）

注）ADR とは、裁判外紛争解決制度のことで、訴訟手続によらず、民事上の紛争を解決しようとする紛争の当事者のため、公正な第三者が関与して、その解決を図る手続をいいます。

※当ファンドに関するお問い合わせは、お取引のある本支店にご連絡ください。

このページは、野村證券株式会社からのお知らせです。
(このページの記載は目論見書としての情報ではございません。)

【金融商品の販売等に関する法律に係る重要事項】

当ファンド(「マネープールファンド 3」を除く)は、特定の株価指数、通貨、商品価格の変動によって価格が変動するユーロ円建債券を主要投資対象としますので、金利や株価指数、通貨、商品価格の変動により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。組入債券の発行体の倒産・財務状況の悪化等により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替の変動により損失を被ることがあります。

「マネープールファンド 3」は、主に国内債券を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

「T & Dダブルブル・ベア・シリーズ 3」の購入時手数料について

野村證券株式会社における購入時手数料は、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に以下の手数料率を乗じた額です。
(購入時手数料=購入口数×基準価額×手数料率)

ファンド	購入口数	手数料率	
		スイッチング以外による購入	スイッチングによる購入
マネープールファンド 3 以外の各ファンド	1 万口未満	3.150% (税抜 3.0%)	1.5750% (税抜 1.50%)
	1 万口以上 5 万口未満	1.575% (税抜 1.5%)	0.7875% (税抜 0.75%)
	5 万口以上	0.525% (税抜 0.5%)	0.2625% (税抜 0.25%)
マネープールファンド 3		(購入はできません)	手数料はかかりません※

*当初元本 1 口=1 万円

詳しくは野村證券窓口にお問い合わせ下さい。



33580011